

せせらぎ



令和元年 6月21日発行 No.1

雨が降ったり晴れたり、梅雨らしい天気の日もあれば、夏を思わせるような日もあり、体調を崩しがちな天気が続いています。その中で、子供たちは元気に登校し、勉強や運動に一生懸命取り組んでいます。

さて、昨年度まで「学力向上推進指定校」の指定を受け取り組んで参りました。昨年度までの取り組みを今年度も実践し、子供たちに確かな学力が身に付くよう、引き続き授業改善に取り組んでいきたいと思ひます。

今年度も、校内研究授業の様子を紹介し、本校の取組について保護者の皆様方にお伝えしていきたいと思ひます。なお、Webページ上でも発信していきたいと思ひます。

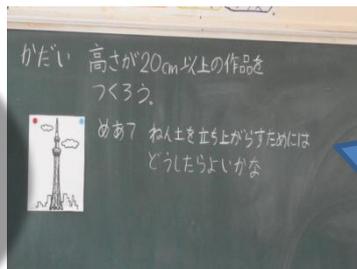
校内研究授業 6/17 (月)
4年図工「立ち上がれ!ねん土」
指導者
ねらい「粘土の立ち上がらせ方の工夫を考え、作品のイメージをもつことができる。」

今年度は小幡小授業メソッドを、いろいろな教科で実践していきます。
1回目は図工です。



つかむ

1. 「めあて」をもとう
2. 「見通し」をもとう

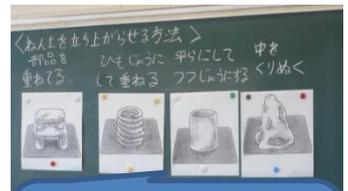


「高さ20cm以上の作品を作ろう」という課題が提示されました。
倒れない作品を作るには・・・
「粘土を立ち上がらせるためにはどうしたらよいか」というめあてを考えました。

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

まずは粘土を使って、いろいろ試してみました。



試行錯誤したあと、みんなから、4つの方法が出されました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



話し合いのあと、立ち上がるか試してみました。



「ひもにして重ねたら、立ち上がりました。」



児童の言葉を使って、今日の学習のまとめをしています。

児童は、粘土を立ち上がらせるために「ひもにして重ねる」「板にしてまるめる」等の工夫に気付き、どんな作品を作るかイメージをもつことができました。

授業研究会では、「児童は、粘土を立ち上がらせるために、いろいろと試しながら、意欲的に取り組んでいた。」という意見が出されていました。